

第1章 昭和61年度山口大学構内遺跡調査の概要

山口大学構内には、縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての集落跡として著名な吉田地区（吉田遺跡）をはじめ、県内各地に分散する附属施設を含む地区に周知の遺跡が埋存している。山口大学埋蔵文化財資料館は学内共同利用施設として、これら各地区において現状変更を伴う諸工事に際し、埋蔵文化財保護の観点から調査・研究を行なっている。すなわち、埋蔵文化財調査を要する場合は、埋蔵文化財資料館運営委員会の議を経て、周辺における既往の調査結果や工事内容等を勘案しながら、埋蔵文化財に対する影響の度合に応じて立会、試掘および事前に区分した各調査方法によって発掘調査を実施し、保護措置を講じている。

今年度は試掘調査2件、立会調査26件の計28件の調査を実施した（Tab. 1）。

Tab. 1 昭和61年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査地区	構内地区	構内地区割	調査面積 (m^2)	調査期間	挿図番号
試掘調査	教育学部山口附属学校 污水排水管布設予定地	亀山構内	幼稚園・小学校部分 中学校部分	57 20	(9月22~27日 10月1~15日 10月22~31日)	Fig.104-4 Fig.105-2
	国際交流会館新営予定地	吉田構内	N-22・23区	70	12月4~25日	Fig.101 -73
立会調査	山口銀行現金自動支払機設営地区 (電線路埋設地区)	吉田構内	I・J-19・20区	11	4月17日	Fig.101 -74
	農学部附属農場農道整備地区	吉田構内	S-20, U-19区	165	4月21日	Fig.101 -75
	農学部附属農場農道交通規制地区 (施錠ポール設置地区)	吉田構内	Q-15・16, L-10区	2	5月12日	Fig.101 -76
	正門横(水田内)境界杭設置地区	吉田構内	I-10区	0.25	5月16日	Fig.101 -77
	経済学部環境整備地区 (樹木移植・記念碑建立地区)	吉田構内	M-20区	3	6月19日	Fig.101 -78
	交通標識設置地区	吉田構内	H-23, J-9, P-22, S-20, W-16区	3	6月27日	Fig.101 -79
	市道神郷1号線および 問田神郷線の送水管埋設地区	吉田構内		2100	8月11~29日	Fig.101 -80
教養部自動販売機増設地区 (屋根設置および観覧席移動地区)	吉田構内	K・L-18区	3.5	8月19日	Fig.101 -81	

昭和61年度山口大学構内遺跡調査の概要

調査区分	調査地区	構内地区	構内地区割	調査面積 (㎡)	調査期間	挿図番号
立	教養部身体障害者用 スロープ取設地区	吉田構内	L-15・16区	3	9月2日	Fig.101 -82
	経済学部散水栓取設地区	吉田構内	L・M-20区	4	12月1日	Fig.101 -83
	水泳プール改修地区等	吉田構内	E・F-16, H-15区	26.5	12月8・10日	Fig.101 -84
	農学部附属農場水道管理設地区	吉田構内	S-12区	3	12月9日	Fig.101 -85
	汚水排水管等総改修地区	吉田構内	Q-15・16, M-18区	15.5	12月23日 1月12・19日	Fig.101 -86
	本部身体障害者用 スロープ取設地区	吉田構内	L-14区	12	2月25日	Fig.101 -87
	経済学部身体障害者用 スロープ取設地区	吉田構内	K-20, L-18~20区	88	3月13・17・ 23日	Fig.101 -88
会	附属図書館荷物運搬用 スロープ取設地区	吉田構内	L-16区	8	3月16日	Fig.101 -89
	教養部37番教室改修地区	吉田構内	K-16区	1	3月24日	Fig.101 -90
	医学部附属病院外来診療棟新営地区	小串構内		5	5月20・26日 6月20・27日 7月24日	Fig.102 -13
	医学部附属病院外来診療棟周辺環境 整備地区等(雨水樹埋設地区)	小串構内		18	3月24日	Fig.102 -14
	工学部尾山宿舍排水管改修地区	常盤構内		6	7月8日	Fig.52
	工学部身体障害者用 スロープ取設地区	常盤構内		29	8月21日	Fig.103 -4
	情報処理センター(常盤センター) 空調整備取設地区	常盤構内		30	8月21日	Fig.103 -5
調	教育学部附属山口小学校 電柱移設地区	龜山構内		0.5	7月9日	Fig.104 -5
	教育学部附属光小学校創立記念 事業地区(ブロンズ像建立地区)	光構内		2.5	10月20日	Fig.106 -4
	湯田宿舍給水管改修地区	山口市 湯田温泉		35	11月11・15・ 19・21日	Fig.58
	経済学部宿舍下水管改修地区	山口市旭通り 山口市水の上町		1 7	3月14・19日	Fig.61 Fig.59
	査					

吉田構内の調査

吉田構内の調査(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部、教養部：山口市大字吉田1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田3003所在)

試掘調査1件、立会調査17件の計18件の調査を実施した。

試掘調査はキャンパスの南端中央部に位置する、国際交流会館新営予定地で実施した。新営予定地北半部では旧耕土、床土が残存しておらず、表土直下が地山である。統合移転時の造成による大規模な削平が行なわれたものと考えられ、わずかに中～近世の溝状遺構を検出したにすぎない。しかし、南半部では弥生時代前期末～古墳時代後期を主体とする遺物を含み、東から西へ走向する幅約19m以上の河川跡を検出した。調査面積、遺物の出土量とも少ないため、機能していた時期は明確ではない。出土遺物には弥生土器、須恵器の壺などのほか、姫島産黒曜石製の加工痕ある剥片がある。なお、今回の調査地域の北西約100mの地点でも同規模の河川跡が検出されており、同一河川の可能性がある。試掘調査の結果を踏まえ、河川の流路部分については、後日、立会調査を実施することとなった。

立会調査では17件のうち9件の調査で遺物あるいは遺物包含層・遺構が認められた。

遺物包含層は2件の立会調査で検出した。キャンパス西端部の水泳プールの改修地域では遺物は出土しなかったが、その西側のテニスコートフェンス改修時に確認された弥生～古墳時代の遺物を含む茶褐色粘質土と同一層が認められ、遺物包含層の東への拡がりも確認された。また、キャンパス南西部、遺跡保存地区の北東に隣接する地域では、現金自動支払機設営を伴い立会調査を実施した。現地表から75cm下位で弥生時代中期の土器を包含する黒褐色粘質土の堆積が見られ、工事路線内では幅5m以上、層厚は少なくとも35cmの規模をもつ。その下位には砂礫が堆積し、出土遺物の磨滅も激しいことなどから河川跡、溝などの埋土の可能性が高い。なお、今回の調査地域の北東約70mの地点では弥生時代中期後半～後期初頭の大溝が検出されており、同一遺構かもしれない。

遺構は2件の立会調査で検出した。キャンパス南東端部に位置する果樹園での農道整備では、崖面の切り土を行った。攪乱部分を除いて工事範囲内の全面に室町時代の柱穴が分布していたため、関係部局と協議の結果、整備に伴う切り土は農道としても機能可能なこの攪乱部分に限定して実施することとなった。隣接して行われた器材庫設置に伴う調査でも、同時期の溝が検出され、現状変更せずに設置する配慮がなされた。また、キャンパス中央部よりやや南の経済学部構内では、身体障害者用スロープ取設に伴い4箇所を掘削した。そのうちの1箇所である第一学生食堂付近では、弥生～古墳時代の柱穴が検出されたため、関係部局と協議の結果、遺構を破壊しない範囲内で工事を実施することとなった。

遺物包含層、遺構は検出されなかったが、以下の4件の立会調査地域およびその周辺で

遺物を採集した。キャンパス中央部に位置する附属図書館西側の荷物運搬用スロープ工事では、弥生時代前期のものと思われる壺の破片、南東部に位置する独身寮東側の交通標識設置工事では時期、器形不明の須恵器片がそれぞれ埋め土中から出土した。各遺物は過去に周辺で同時期の遺物包含層、遺構が検出されており、統合移転時の造成により、これらから遊離したものであろう。キャンパス中央部よりやや東に位する実験水田北側の農道で



Fig. 1 山口大学吉田・亀山両キャンパス位置図

は須恵器蓋坏、甕、土師器を採集した。水田の側溝を再掘削した際に出土したものと思われ、須恵器蓋坏は7世紀後半のものである。キャンパス中央部よりやや北東に位置する第二学生食堂の擁壁工事では、表土中から土師質土器の鼎脚部が出土した。また、調査中に東に隣接する農学部害虫学実験畑で、須恵器坏身、甕、土師器甑の把手等を採集した。大半は8世紀代におさまるもので、第二学生食堂敷地部分で検出されている竪穴住居跡が古墳時代前期の所産であることから、付近に時期の異なる遺構ないしは遺物包含層が埋存している可能性を推測させた。

また、キャンパスの南縁部を巡る市道での送水管埋設に伴い、山口市教育委員会が立会調査を実施し、当資料館も調査協力を行なった。その結果、家畜病院付近で墨書のある須恵器、土師器、六連式製塩土器等が出土した奈良～平安時代の河川跡、ハンドボール場前、南門前では溝（状）遺構が新たに検出された。遺物包含層は野球場南東端部から南門にかけての少なくとも幅約160mの範囲に集中分布している。二層に分層され、上層か

小串構内の調査

らは須恵器が出土しているが、量的には極めて少ない。下層は弥生時代前期末～後期終末の遺物を包含しており、なかでも、前期末～中期初頭の土器は出土量が比較的多く、壺、甕などの良好な資料も少なくない。なお、南門からラグビー場付近までは遺物包含層の下層が大学側の断面にのみ部分的に検出され、地山がこの部分で不規則に落ち込んでいることから、前期末～中期初頭の遺構の存在を予想させる。

小串構内の調査 (医学部、医療技術短期大学部、医学部附属病院：宇部市大字小串1144所在)

キャンパスの東部に位置する外来診療棟周辺で、2件の立会調査を実施した。過去の調査で検出されている遺物包含層の堆積は認められたが、遺物は出土していない。

常盤構内の調査 (工学部、工業短期大学部：宇部市常盤台2557、尾山宿舍：同上野中所在)

3件の立会調査を実施した。調査地域は、キャンパスの中央部の東講義棟、北端中央部の学生食堂、南西部の情報処理センター各周辺およびキャンパスの南東約300mに位置する尾山宿舍敷地部分である。各地点とも後世の削平が激しく、遺物包含層、遺構は認められなかった。

亀山構内の調査 (教育学部附属幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：同三丁目1-1、同山口中学校：同二丁目9-1所在)

小学校のグラウンド部分が「白石遺跡」として周知されている。試掘調査1件、立会調査1件の計2件の調査を実施した。

試掘調査は汚水排水管布設に伴い、各校内で実施した。幼稚園部分では弥生土器を含む



Fig. 2 山口大学小串・常盤両キャンパス位置図

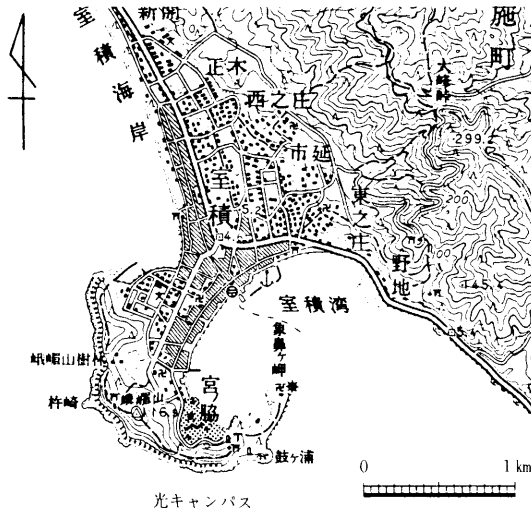


Fig. 3 山口大学光キャンパス位置図

遺物包含層、室町時代の遺構を検出した。

小学校部分では12箇所のトレンチのうち5箇所で遺物が出土した。とくに南東部のトレンチでは、布留式土器の終末期に位置づけられる遺物包含層を確認した。過去の調査では、広義の布留式併行の竪穴住居跡が検出されており、庄内式の新段階の遺物を含む溝状遺構も認められていることから、当校内に庄内式、布留式各新段階の、少なくとも二時期の遺構、遺物包含層が存在する可能性が提起された。したがって、とくにこの部分の施設、

環境整備については遺物包含層の分布範囲の把握を含めた事前の調査が必要となった。

中学校の敷地部分でも明確な遺構は検出していないが、8箇所のトレンチのうちの2箇所で未周知の遺物包含層を確認した。とくに第5トレンチでは少なくとも二層に分層され、下層は植物遺体を含む縄文後・晩期の単純層で、上層からは庄内併行期の土器が多量に出土した。また、隣接する第3トレンチでも大内館跡B式土器を含む中世の土師器を主体とした堆積層を検出した。弥生～江戸時代の遺物が混在しており、周辺からの流入品と考えられる。他にも同時期の遺物が原位置を遊離した遺物包含層から出土した。遺物の集中範囲は本校内の西半部に限定され、この部分での工事に際しては事前の調査が必要である。

光構内の調査 (教育学部附属光小学校、同光中学校：光市大字室積浦1-1所在)

「御手洗遺跡」として周知されている地域である。立会調査1件を実施した。キャンパス中央部付近の中庭での工事で、表土直下の海成砂層上面から須恵器、歴史時代土師器が出土した。また、本構内の北に面する海岸で古墳時代後期～江戸時代の遺物を採集した。

その他構内の立会調査

山口市湯田温泉六丁目8-29に所在する湯田職員宿舎、また山口市旭通り二丁目3-32、水の上町6-9に所在する経済学部の職員宿舎において、それぞれ立会調査を実施した。旭通りに所在する6号宿舎では、埋め土中から室町時代後半頃の瓦質土器播鉢が出土した。また、周辺の畑地では同時期の瓦質土器鍋、播鉢、土師質土器鼎等の遺物が多量に採集され、周辺に未周知の遺跡が存在している可能性が指摘されるにいたった。(河村)



Fig. 101 山口大学吉田構内地区割および調査区位置図

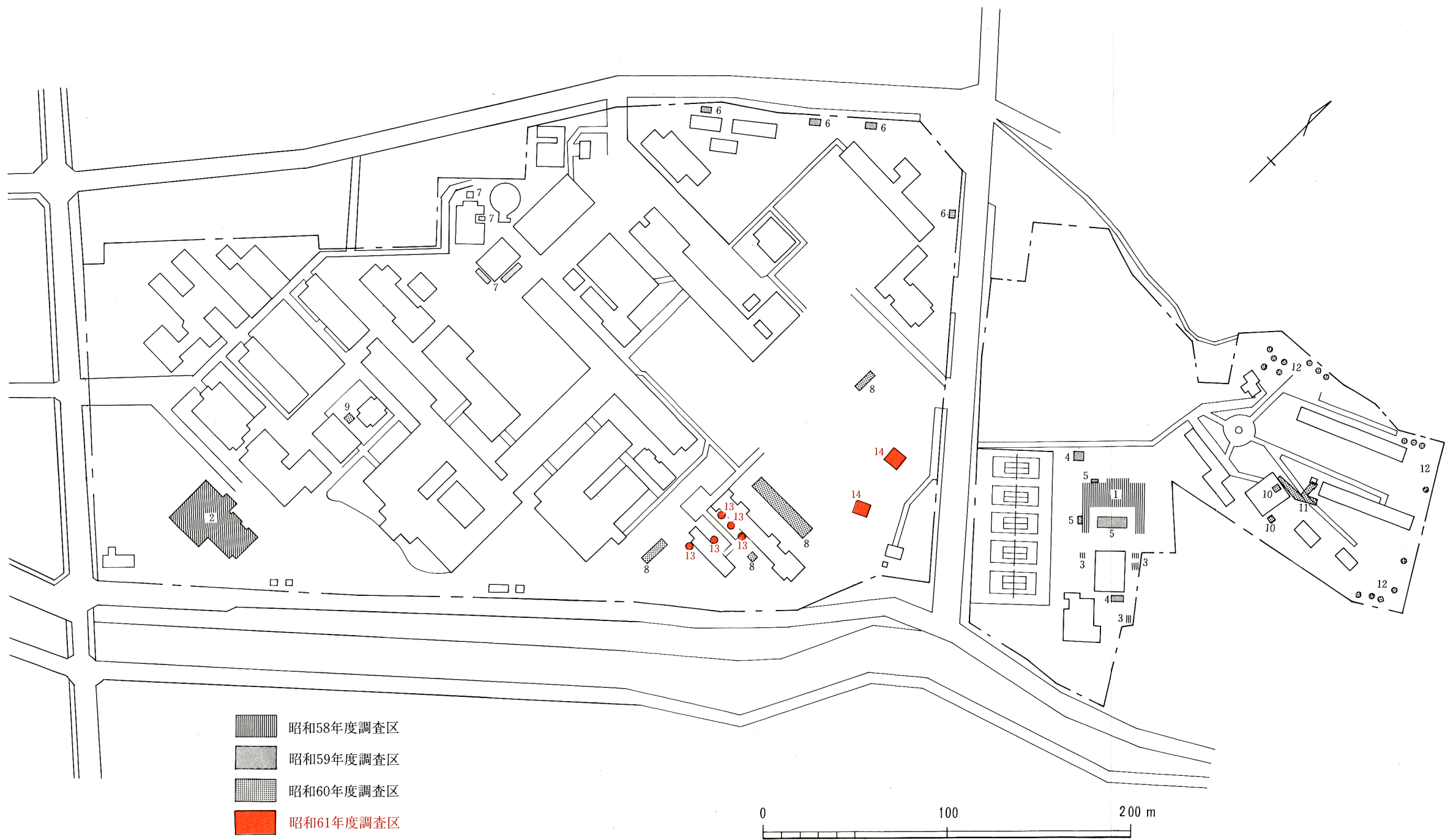


Fig. 102 山口大学小串構内調査区位置図

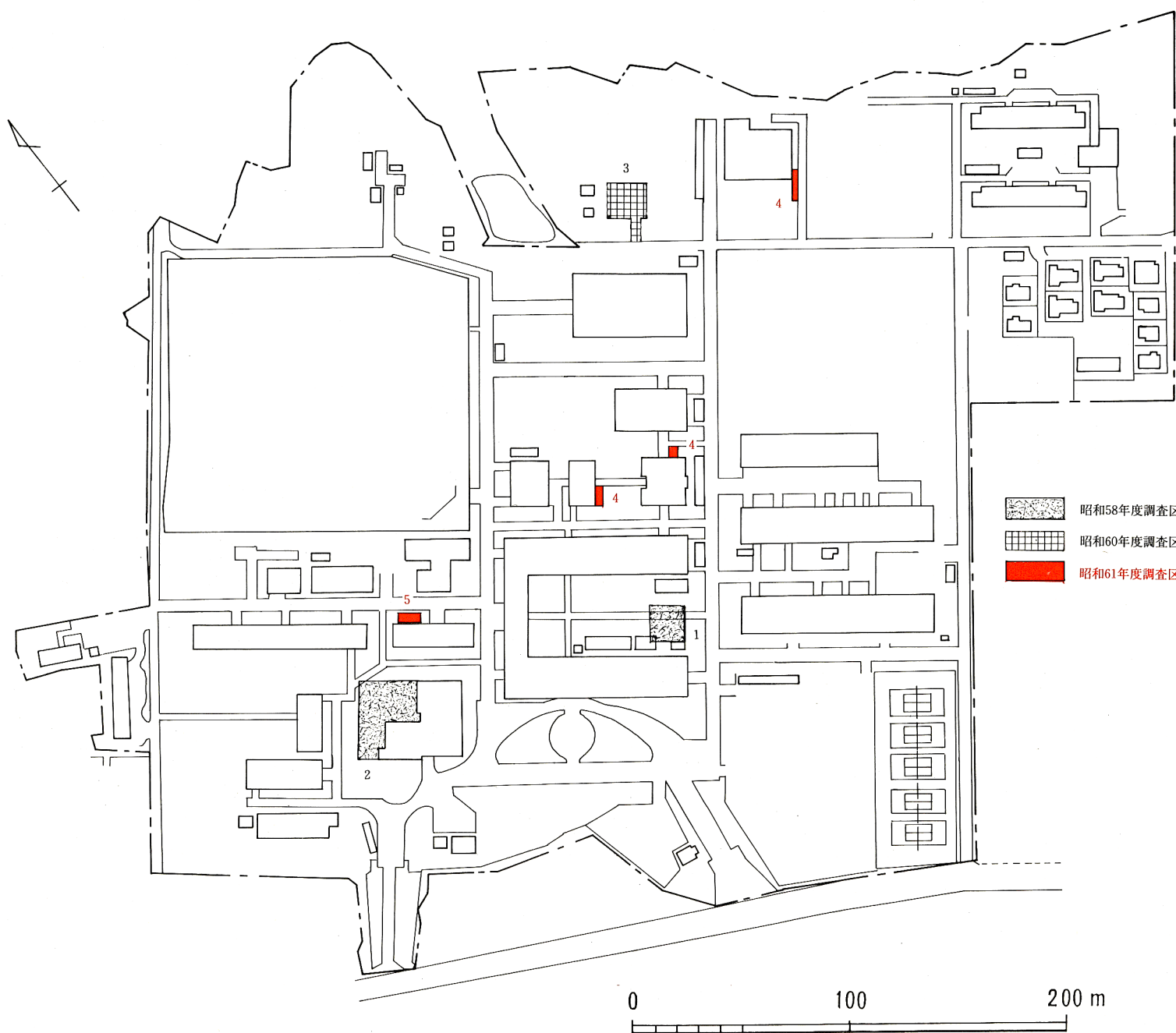


Fig. 103 山口大学常盤構内調査区位置図

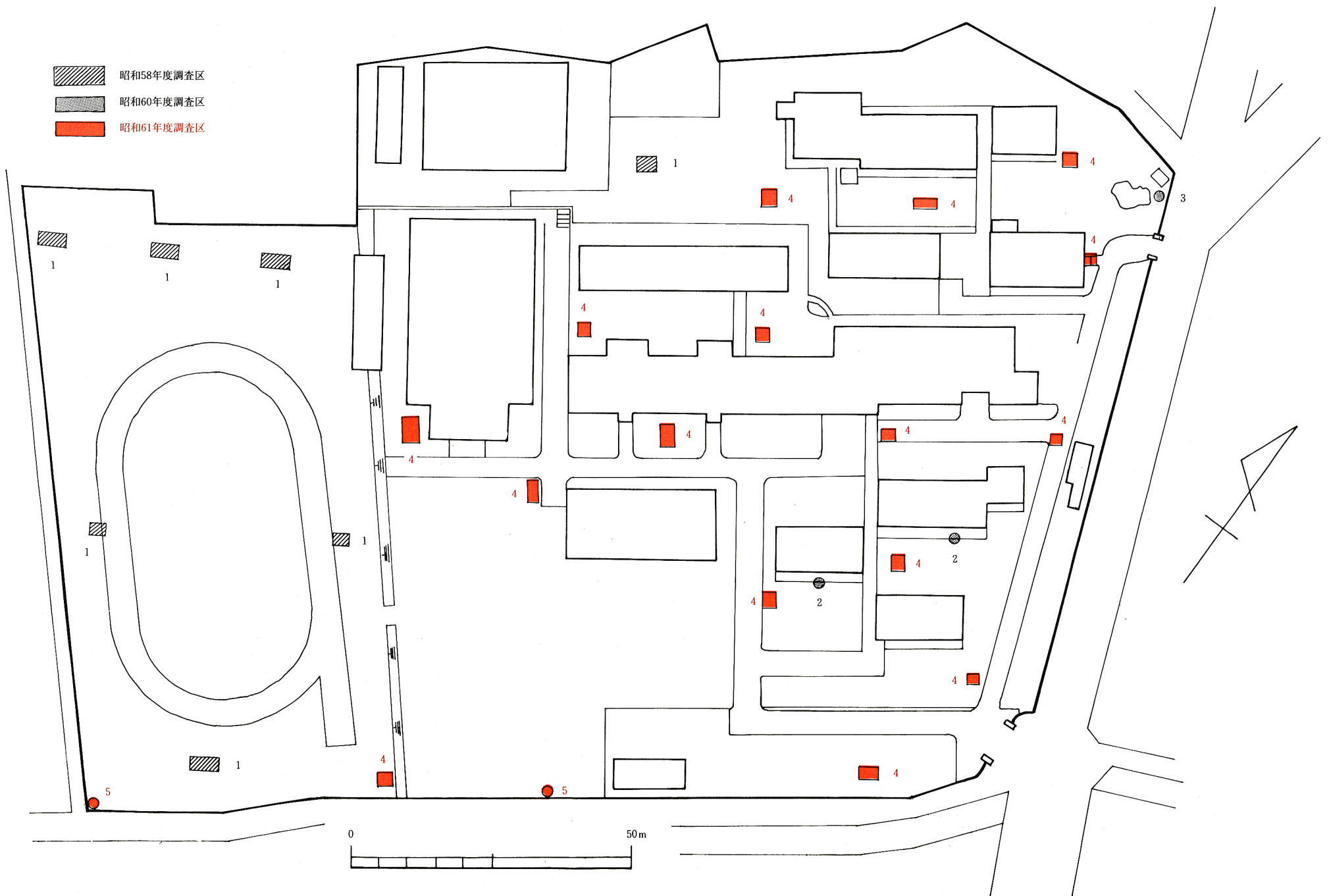


Fig. 104 山口大学亀山構内（幼稚園・小学校部分）調査区位置図

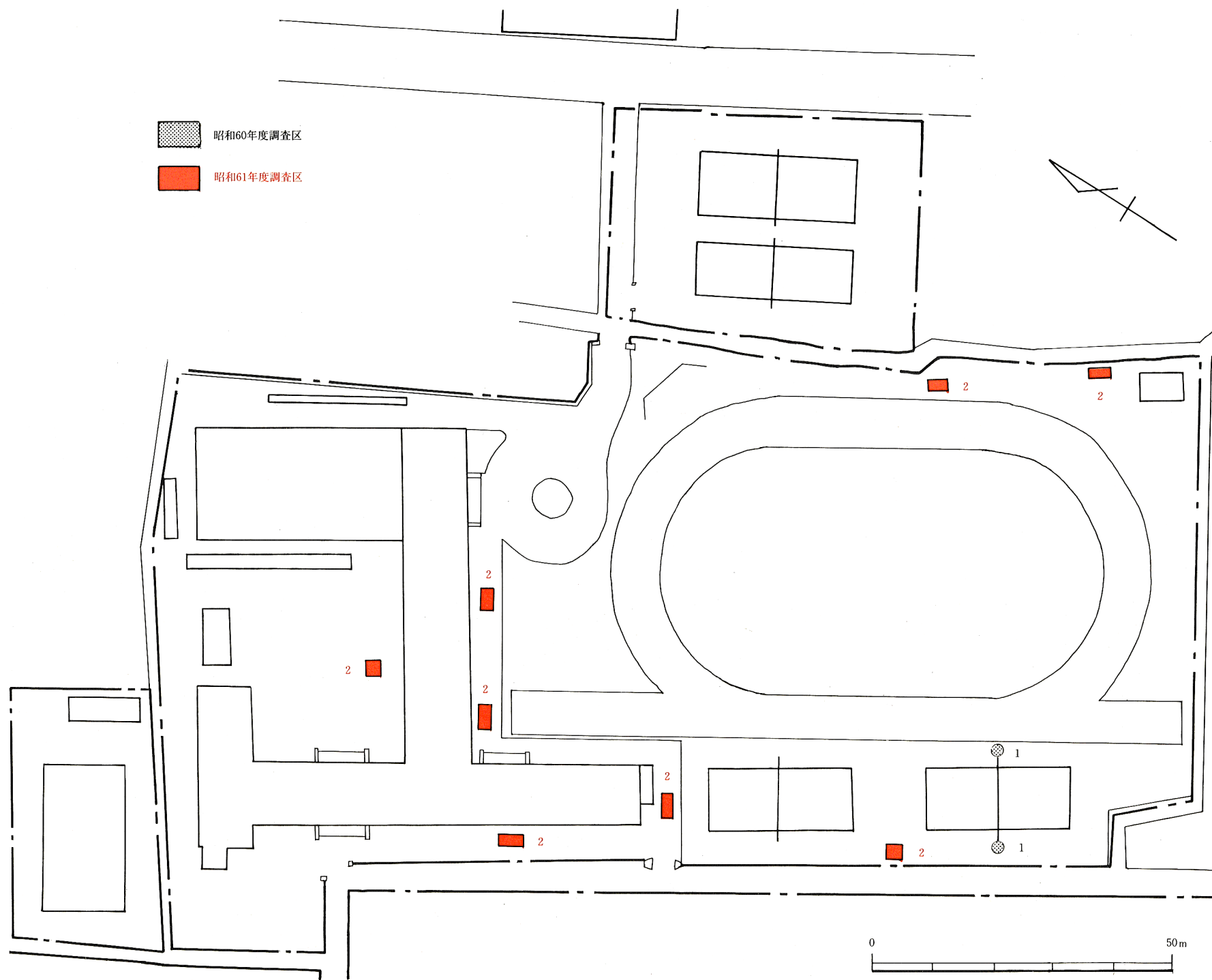


Fig. 105 山口大学亀山構内（中学校部分）調査区位置図

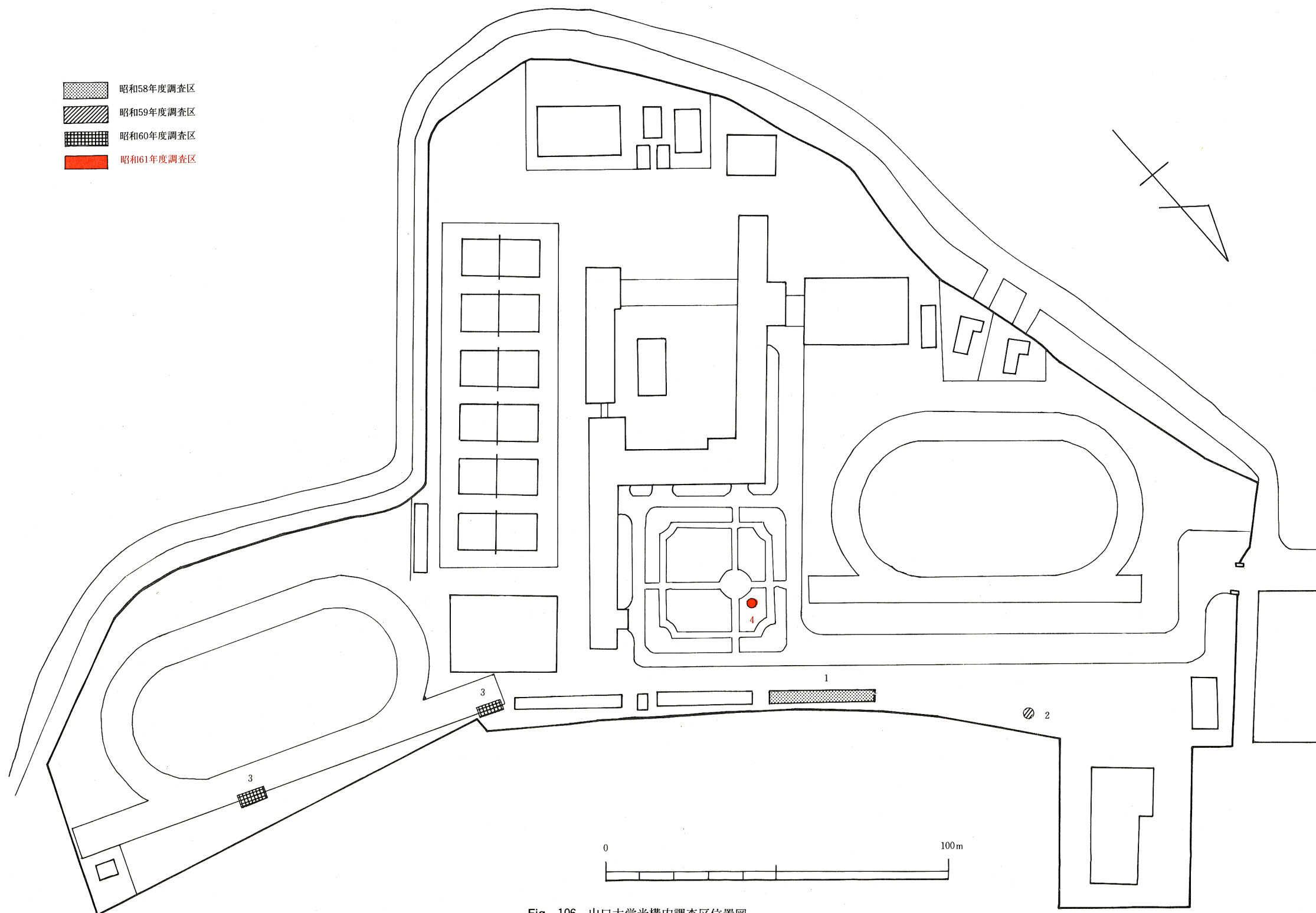


Fig. 106 山口大学光構内調査区位置図